

団体名

特定非営利活動法人

Little Bees International

東京都荒川区

https://www.littlebeesinternational.org/

活動名

コロゴッチョスラムのコミュニティスクールを中心とした循環型社会形成のための総合環境教育活動(ケニア共和国)

団体が取り組むSDGsの目標



スラムにおけるSDGs達成のモデル地区を目指す



地域の中心部を流れるナイロビ川河川敷の緑地化率30%を目指して、植樹を続けている

逆境に負けない
自助努力の地域づくり

- ① コミュニティスクールを含む地域での環境教育
- ② 地域の環境リーダーの育成
- ③ 環境美化活動(ごみの分別回収)
- ④ 緑地化運動

コロゴッチョスラムで活動を始めてから約4年。環境教育活動ではユース世代の環境課題理解度が6割を超え、緑地化運動の植樹は4000本を超えました。もちろん順調ではない課題もあります。スタッフを配置してごみの分別回収活動を推進したモデル地区では、地域住民によるプラスチックごみの分別意識が根付いたものの、それ以外の地区ではま

組織的・計画的な活動がSDGs達成への道

中でも特に力を入れているのは、①の環境教育です。日本やケニアで環境活動を行う団体や専門家と提携し、SDGsに向かって新たな一歩を踏み出した国際社会の動きと連動した独自の環境教育カリキュラムを設定。地域のコミュニティスクールを教育の場として、時代を担うユース世代を中心に進めています。また循環型社会形成の重要性を伝える「Mottainai①セミナー」も開催。これまでに延べ2000人以上が参加しました。②では環境リーダー育成100人を目標に、廃棄物を再利用するリサイクル事業、ごみの分別回収活動促進のための廃棄物マネジメントに関するワークショップを開催。地域コミュニティが自発的に環境問題に取り組むための礎を築く活動を展開しています。

ECO WORD

やさしいエコワード講座

- ① Mottainai……環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイ氏が来日した際に「もったいない」という日本語に感銘を受け、世界共通語として広めることを提唱した。
- ② 10YFP……10-year framework of programmes on sustainable consumption and production patternsの略称。2012年に国連で採択された、持続可能な消費と生産に関する10年計画の枠組み。低炭素型ライフスタイル・社会システムの確立を目指す。



デニム工場から出る余った生地を再利用したバッグづくりのリサイクル事業には、HIV陽性・シングルマザーの女性を中心に現在40名以上が参加している

だまだです。分別意識が根付くには、組織的・計画的な活動の継続が必要です。地道な活動の蓄積により、少しずつではありますがありますが、コロゴッチョスラムはSDGsの目標達成に向かっていきます。将来的にこのスラムがケニアの、そしてアフリカ全体のSDGs達成のための環境モデル地区になれるよう、さらなる事業のスケールアップを目指しています。